

第5回宇治市教育振興基本計画策定委員会会議録

日 時 令和3年11月11日(木) 午後2時00分 開議

場 所 宇治市生涯学習センター 一般研修室

会 議 日 程

1. 開会

2. 協議

○「第2次宇治市教育振興基本計画(初案)」について

○「第2次宇治市教育振興基本計画(初案)」への意見募集について

3. その他

4. 閉会

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(策定委員)

委員長	京都教育大学教授	榊原 禎 宏	副委員長	北宇治中学校長	吉田 英 司
委 員	京都文教短期大学准教授	桑原 千 幸	委 員	宇治市連合育友会長	丹羽 寛 美
委 員	菟道小学校校長	島田 尚 明			

(事務局)

部 長	伊賀 和 彦	副 部 長	上道 貴 志
教育支援センター長	林 口 泰 之	教育総務課長	栗田 益 典
学校管理課長	吉田 健一 郎	生涯学習課長	齊藤 政 也
学校教育課長	吉田 秀 平	教育支援課長	金 久 洋
学校教育課副課長	藤田 祥 尚	教育総務課企画庶務係長	北池 顕 子
教育総務課企画庶務係	前田 圭 祐		

開 会 (午後2時00分)

1. 開会

委員長が第5回「宇治市教育振興基本計画策定委員会」の開会を宣言する。

2. 協議 「第2次宇治市教育振興基本計画(初案)」について

[委員] P15の計画推進の視点で、P14に定義が載っているが、幸福度(well-being)という言葉はしっくりこない。前は幸福度を高めるという言葉を使っていたので幸福度という言葉でよかったが、幸福度だけでは違和感がある。well-beingのみでもよいのではないか。

[事務局] P14に定義されているとおり、幸福度と訳されることもある。

[委員] 幸福で充実した生活というのが正確な言い方かと思うが、well-being だけがしっくりくる。

[委員] 漢字の幸福度を取って well-being でいきましょう。

[委員] 取り組む施策の2について、前は包摂という言葉はどうかという意見があったが、事務局として説明はあるか。

[事務局] 包摂という言葉は難しい言葉なので、意味を理解してもらいにくいと思い修正させていただいた。

[委員] 言葉は見慣れていくこともあるかと思うが、事務局案でどうか。

[委員] 施策3について、しなやかという言葉が良いのではないかという意見が出たが、修正されているようである。事務局として説明はあるか。

[事務局] しなやかという言葉について、身体にかかる言葉ではなく、心にかかる言葉というイメージが強いため、未来を見据えたという言葉に変えさせていただいた。

[委員] 変えてしまうと意味が変わってしまう。また、未来を見据えたというのは、特段施策3に限定されない言葉なので、どこにでも入るのではないか。しなやかというのは良い表現だと思うがどうか。

[委員] 未来を見据えというのはどこでも入ると思うが、健やかな身体だけでは、言い足りないと思う。

[委員] しなやかは身体には合いにくい言葉か。

[委員] 体操選手等に対して使われていると思うが、未来を見据えた身体というのは、どんな体かわからない。

[委員] 一般的には心に使う言葉ではあるが、身体のことでも違和感はないと感じる。

[委員] かつては力強さ、筋肉をたくさんつけるというのが身体の育成だったが、柳のような、ヨガのようなスローなモーションで生活していくような価値を志向するのであれば、しなやかという言葉は違和感がないと思う。

[委員] 足腰とか動きのことに関して使う言葉なので、最近心に関してのことをいうことは多いが、意味合いとしては身体でも問題ないと思う。委員会としては、しなやかでという言葉でお願いしたい。

[委員] P 19以降についても前回の話を基に修正をしてもらっているが、説明はあるか。

[事務局] 第3章の表題については、学び・教育プランに修正している。

[委員] その他、前回P 31の1の「への」という言葉が多用されているところと、3の書き方について指摘をさせてもらった。

[事務局] P 31の1と3について、字句整理をしている。

[委員] P 32からP 33の非構造部材について、現状・課題と取組がリンクしていないのではないかと指摘した。また、非構造部材という言葉は難しいのではないかと。

[事務局] 指摘に対して修正をしている。また、非構造部材というのは、柱等の構造部以外のもので、照明とかである。構造部の耐震改修は終わっているので、それ以外の部分を改修していくということである。

他に変わったところは、P 2のSDGsについて、詳しく書いた方がいのではないかと意見に対し、説明書きを追記している。P 7について、総合計画の内容が更新されたので、それに伴って修正をしている。P 45について、SDGsから見た施策を追加している。

[委員] P 35について、家庭の教育力を上に持っていってもらっているが、現状・課題も3つ目に持っていく必要がある。

[委員] P 35のVUCAの説明はあるか。

[委員] P 12にある。計画の最後のページに用語集があれば良いのではないかと。

[委員] 家読（うちどく）という言葉はいつから始まったのか。

[事務局] 京都府でも家読（うちどく）という言葉を使っている。家庭の読書習慣を推進するという意味で、2006年から使われているようである。

[委員] 計画推進の視点の、子育てという言葉について、施策体系に出てこない。P17、18に入ったりはしないのか。

[委員] 他にも入っていない用語もある。各言葉の意味合いが施策に反映されているので問題ない。

[委員] P9等に出てくる元号について、和暦だけでは西暦何年というのがぱっと出てこず、意味が伝わりにくいと思うので、西暦と和暦を併記してはどうか。

[事務局] 併記できるところはしていきたい。

[委員] 目標値と指標値はパブコメには出さないのか。

[事務局] パブコメ後の最終案の段階で記載する。

[委員] では次回の策定委員会で提案いただいて議論させていただく。

[事務局] P14のウェルビーイングについては、アルファベットの方が良いか。

[委員] ウェルビーイング（well-being）としてはどうか。

[委員] 文章の体裁について、文章のはじめの1マス下げができていない箇所と、できていない箇所があるので、統一すべきである。

[委員] アルファベットは基本的に半角に統一すべきである。

3. その他 事務局から日程調整に関する事務連絡を行う。

4. 閉会 委員長が閉会を宣言する。

閉 会 （午後3時00分）